



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社
コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 佐々木 勉
(氏名) 篠崎 岳

TEL 092-433-1228

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	76,411	5.6	872	71.6	900	72.1	333	36.7
27年2月期第2四半期	72,377	5.2	508	△41.1	522	△39.8	244	△28.8

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 356百万円 (42.8%) 27年2月期第2四半期 249百万円 (△28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	44.32	44.11
27年2月期第2四半期	32.43	32.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	35,655	11,721	32.7	1,550.09
27年2月期	34,225	11,635	33.9	1,540.76

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 11,673百万円 27年2月期 11,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	38.00	38.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	6.7	1,500	13.9	1,500	12.3	500	224.8	66.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期2Q	7,530,695 株	27年2月期	7,530,695 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期2Q	37 株	27年2月期	37 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期2Q	7,530,658 株	27年2月期2Q	7,527,158 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、政府の経済対策により、株価の持続的上昇や消費支出の持ち直し等、景気の緩やかな回復がみられるものの、少子高齢化によるマーケットの縮小、人口の都市集中化と異業種の食品市場への参入拡大による競争の激化等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような経営環境のなか、「九州のスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、新規出店の継続と既存店舗の活性化を推進するとともに、更なる成長と熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

成長の要となる新規店舗として、3月にマックスバリュ南佐賀店（佐賀県）及びマックスバリュ那珂川店（福岡県）を開店いたしました。4月には、佐賀市近郊のスクラップアンドビルド戦略として、マックスバリュ三日月店（佐賀県）を閉鎖するとともに、近隣の建物を賃借してザ・ビッグ三日月店（佐賀県）を開店いたしました。さらに、マックスバリュ川尻店（熊本県）を業態転換し、6月にザ・ビッグエクスプレス川尻店として新たなスタートを切りました。また、7店舗の改装を実施し、客数増による売上高及び営業利益の向上を図りました。

営業面におきましては、前期に引き続き既存店活性化を中心とした商品構成の見直しを継続実施し、惣菜や生鮮食品、地元商品を中心とした品揃えの見直しと、お客さまのお買い物環境を改善するための設備のリフレッシュを行いました。商品面におきましては、お客さまのライフスタイルの変化に対応した、マックスバリュビュッフェを中心とした惣菜商品の充実や冷凍食品等の簡便商材の展開拡大等の取り組みを実施いたしました。

これらの取り組みを実行することにより、売上高及び売上総利益の拡大を図り、売上高については、既存店前年比100.2%と前年を超過しております。

販売費及び一般管理費につきましては、総労働時間の効率化による人件費効率化や、販売促進の見直しによる販促費効率化を実施したことに加え、LED照明設備の導入等による電気使用量の減と燃料調整費ダウンによる電気代の削減により、経費の削減を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高76,411百万円（対前年同四半期比105.6%）、営業利益872百万円（対前年同四半期比171.6%）、経常利益900百万円（対前年同四半期比172.1%）、四半期純利益333百万円（対前年同四半期比136.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,430百万円増加し、35,655百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から1,376百万円増加し、14,187百万円となりました。主な要因は、第1四半期連結会計期間に長期借入金の借入を行ったこと等により、現金及び預金が602百万円増加したこと、および売掛金が504百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末から54百万円増加し、21,468百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,344百万円増加し、23,933百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から759百万円増加し、20,100百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が434百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末から585百万円増加し、3,833百万円となりました。主な要因は、長期借入金が645百万円増加したこと及び引当金が32百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、11,721百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が47百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は6,624百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,425百万円(前年同四半期は4,726百万円の獲得)となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益777百万円及び減価償却費932百万円並びに仕入債務の増加434百万円と、売上債権の増加503百万円、法人税等の支払151百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,370百万円(前年同四半期は898百万円の使用)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出1,353百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、547百万円(前年同四半期は489百万円の使用)となりました。

これは、主に長期借入れによる収入1,300百万円、長期借入金の返済による支出512百万円及び配当金の支払額286百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年2月期の通期の業績予想につきましては、見通しの修正を行っております。

2015年9月1日を効力発生日として、株式会社ダイエーより九州地区のスーパーマーケット事業14店舗を吸収分割により取得したため、その影響を鑑み業績予想を修正いたしました。

本件吸収分割実行につきましては、売上高は増加するものの事業承継に関わる投資等も発生し、本年通期業績に与える影響も予想されます。しかし、既存事業における業績見通しを底上げすることにより、通期連結業績予想につきましては、売上高のみ見直し修正を行い、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、業績見通しを据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
記載すべき事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,022	6,624
売掛金	1,396	1,900
たな卸資産	3,784	3,764
その他	1,606	1,897
流動資産合計	12,811	14,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,103	9,225
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	2,546	2,670
土地	2,711	2,708
その他(純額)	219	192
有形固定資産合計	14,581	14,797
無形固定資産		
のれん	416	405
その他	29	27
無形固定資産合計	446	432
投資その他の資産		
差入保証金	4,352	4,346
その他	2,034	1,892
投資その他の資産合計	6,386	6,238
固定資産合計	21,414	21,468
資産合計	34,225	35,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,240	13,674
短期借入金	20	96
1年内返済予定の長期借入金	697	840
未払法人税等	196	383
引当金	167	238
その他	5,018	4,868
流動負債合計	19,340	20,100
固定負債		
長期借入金	1,390	2,035
引当金	130	97
資産除去債務	688	697
退職給付に係る負債	18	18
その他	1,020	984
固定負債合計	3,248	3,833
負債合計	22,589	23,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,589	1,589
資本剰余金	1,434	1,434
利益剰余金	8,431	8,478
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,454	11,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	170
その他の包括利益累計額合計	148	170
新株予約権	32	48
純資産合計	11,635	11,721
負債純資産合計	34,225	35,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年8月31日)
売上高	72,377	76,411
売上原価	55,525	58,603
売上総利益	16,852	17,807
その他の営業収入	846	899
営業総利益	17,698	18,707
販売費及び一般管理費	17,190	17,834
営業利益	508	872
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	4	4
補助金収入	—	22
その他	19	9
営業外収益合計	35	47
営業外費用		
支払利息	13	13
その他	7	6
営業外費用合計	20	19
経常利益	522	900
特別利益		
固定資産売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産除却損	4	48
減損損失	—	15
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	58
特別損失合計	4	122
税金等調整前四半期純利益	526	777
法人税、住民税及び事業税	193	335
法人税等調整額	89	108
法人税等合計	282	444
少数株主損益調整前四半期純利益	244	333
四半期純利益	244	333

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244	333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	22
その他の包括利益合計	5	22
四半期包括利益	249	356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	356

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	526	777
減価償却費	878	932
減損損失	-	15
のれん償却額	11	11
受取利息及び受取配当金	△16	△15
補助金収入	-	△22
支払利息	13	13
固定資産売却損益(△は益)	△8	-
固定資産除却損	4	48
売上債権の増減額(△は増加)	△343	△503
たな卸資産の増減額(△は増加)	63	20
仕入債務の増減額(△は減少)	3,749	434
その他	559	△125
小計	5,437	1,587
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額	△704	△151
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,726	1,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△905	△1,353
資産除去債務の履行による支出	-	△32
差入保証金の差入による支出	△58	△90
差入保証金の回収による収入	149	117
預り保証金の返還による支出	△36	△14
預り保証金の受入による収入	3	9
補助金の受取額	-	22
その他	△51	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△898	△1,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△130	76
長期借入れによる収入	300	1,300
長期借入金の返済による支出	△342	△512
リース債務の返済による支出	△31	△29
配当金の支払額	△286	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489	547
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,338	602
現金及び現金同等物の期首残高	3,874	6,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,213	6,624

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品及び日用雑貨品を主に販売するスーパーマーケット事業及びその附随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、2015年7月8日開催の取締役会におきまして、株式会社ダイエーの九州地域におけるスーパーマーケット事業の会社分割による承継について、吸収分割契約書締結の決議を行い、同日付で同契約書を締結いたしました。同契約に従い、2015年9月1日にダイエー14店舗を承継いたしました。

1. 取引の概要

(1) 承継の理由と目的

当社は、「九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、新規出店を中心とした店舗網の拡充を図ってまいりました。

今回、株式会社ダイエーのイオングループ参画に伴う構造改革の一環として、同社が九州地域で展開しているスーパーマーケット事業の一部を承継することにより、当社店舗網の大幅な拡充に加えて、九州を地盤とする当社が経営することにより、より地域密着型の店舗運営を図り、地域のお客さまのご支持を増やしていきたいと考えております。

さらに、九州内グループ企業との共同仕入、共同配送による商品調達上のメリットや、本社機能の集約等によるコスト削減により、経営資源の最適化を図ってまいります。

(2) 承継する事業の内容、規模

①承継する事業内容

九州地域におけるスーパーマーケット事業のうち、14店舗

②承継する店舗の損益情報(2015年2月期)

売上高 12,867百万円

営業利益 △84百万円

なお、上記数値については、監査を受けておりません。

(3) 承継の時期

2015年9月1日

(4) 法的形式を含むその他取引の概要

株式会社ダイエーを分割会社とし、当社を承継会社とする吸収分割であり、その対価は現金850百万円です。

(5) 分割当事者の概要

	分割承継会社	分割会社
名称	マックスバリュ九州株式会社	株式会社ダイエー
所在地	福岡市博多区博多駅東3丁目13番21号	兵庫県神戸市中央区港島中町四丁目1番1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐々木 勉	代表取締役社長 近澤 靖英
事業内容	小売事業	小売事業
資本金	1,589百万円	56,517百万円
設立年月日	2002年3月25日	1957年4月10日
発行済株式数	7,530,695株	397,738,231株
決算期	2月末日	2月末日

2. 取得原価の算定等に関する事項

取得の対価	850百万円
アドバイザー費用等	20百万円
計	870百万円

3. 取得原価の配分に関する事項

(1) 承継する資産・負債の項目及び金額

資産合計	負債合計
1,546百万円	358百万円

(2) 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

①金額 212百万円

②発生原因

受け入れた資産及び引き受けた負債の純額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として計上しております。

4. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。